

上白沢慧音

(かみしらさわ・けいね)

能力：『歴史を食べる(隠す)程度の能力(平常時・レフェリー時)』

『歴史を創る程度の能力(試合中)』

所属：フリー(第2回大会～第26回大会,第40回大会～)(もこけーねとして活動するも、特定の軍団には所属していないため、フリー扱い)

GM軍(第27回大会～第39回大会)

ファイト・スタイル

猛獣クライシス

戦いの場では常に全力で立ち向かうという『白沢』の本能にあるように東プロリング上では常に角のオーラが見えている。

あくまでオーラなのは角の存在そのものが凶器になるため本部長が何かの措置をした模様。

別に折って誰かの腕に移植したり、角が折れてパワーが半減したり、2本の角共だからパワーゼロ、というわけではない。

角を見せることに伴い、コスチュームも本来の『白沢』服カラー(緑と白)を基本としている。

本来寺子屋の生徒への愛のムチとして使用される頭突きをリングの上でも得意技としており、

多種多様な頭突き技をはじめ、金的にまでも頭を用いるなど、頭突きに対するこだわりは尋常ではないものがある。

寺子屋ピラミッドドライバー

相手の頭を自分の股下に差し込み、相手の胸の前で相手の両腕を交差させ、

自分の右手で相手の右手首、自分の左手で相手の左手首を掴み持ち上げ叩き付けるジャンピングボム。

ロック箇所が多い上に角度が急な為フィニッシュホールドとして愛用している。

オリジナルは女子フリーレスラー堀田祐美子選手のピラミッドドライバー。

東プロでも貴重な『オリジナルを女子レスラーが使っている』技である。

また実在の堀田選手にギミック・性格も似ている様に思われる。

技名は、東方永夜抄で使用したスベルカード『産霊「ファーストピラミッド」』より。

私立天子学園ドライバー (寺子屋ピラミッドドライバーII)

寺子屋ピラミッドドライバーの発展型で、サンダーファイヤーボムのように一旦肩に担ぎ、頭上頂点を垂直に落とす。

寺子屋ピラミッドドライバーExとも呼ばれていたが、慧音がGM軍に移籍してから、

GM天子を称えるため名称を現在のものに変更した。

GM軍から離反後の名称は今のところ不明。

オリジナルは、大日本プロレスやFMW、ZERO1-MAXで活躍したミスターデンジャーこと松永光弘のデンジャーボム。

日出づる国の天子

投・打・極の複合技

立ち状態正面で相手の肘を門状に極めて両腕をクロスさせ自ら全身を跳ね上げ、

戻る反動を利用して肘へ膝蹴りをし、今度は相手を跳ね上げ

運動エネルギーを利用して共に空中で回転し肘を極めてそのまま相手の頭部から叩きつける超大技。

元々かなりの体格を誇る慧音が相手ごと空中に浮き、かつ回転をした上で叩きつける様は圧巻。

オリジナルはその昔ジャンプで連載していたプロレス漫画「ザ・モモタロウ」の主人公

モモタロウの必殺技でストライク・スリー。

モモタロウはこの技で酒呑童子や未来から歴史を修正しに来た自称神、モンゴル出身の横綱を退けた。もう1つ類似技として初披露時文の解説では伝説のプロレス漫画「キン肉マン」に登場したバッファローマンの超人十字架落とし。

技名は、[東方永夜抄](#)にて使用したラストワード『「日出づる国の天子」』より。

元々『天子』は天皇の事だったが、買収されていた間は[GM天子](#)を講える技になっていたらしい。

ヘッドバット

対戦相手への安全性のため物理的な角はないものの

頭から突っ込むという精神だけは抑えられない慧音が多様する技。

スタンド・グラウンド・ダイビングありとあらゆる局面でこなす事が出来る技。

自身の頭部を武器に使っているのにも関わらず、自身へのダメージはほぼ皆無という

強固な頭部持ちならではといえるだろう。

[GM軍](#)としてヒールターン後は、あるう事が相手の股間に叩き込むという暴挙にも出ている。

ハリケーねミキサー

慧音の持つ究極のヘッドバット。直撃を受けたら尋常ではない痛みと痣を創る事が出来る。平たく言えばスピアー。

コーナーに添えた相手への敢行で解説に『ゴア!!』と叫ばせるのを期待している人がいるとか。

ネーミングの由来はマンガ『キン肉マン』に登場するバッファローマンの必殺技『ハリケーンミキサー』。

本家は突撃しながら角で相手の体を跳ね上げる技である。

三種の神器・剣

元は慧音の使うスペルカードの一つだが、ここでは慧音が試合中に持ってくる凶器、特に竹刀の事である。

普段は激昂しても頭突きで済ませる彼女だが、相手が凶器を使用した場合、それに呼応する形でリング下から持ち出す事がある。

[GM天子](#)と契約した後は相手がクリーンファイトに努めていても平然と抜刀し、対戦相手を滅多打ちにするようになった。

その様子は体罰とか指導とかいうレベルを通り越して私刑・個人的制裁の類である。

刈龍怒(かりゅうど)

タッグ戦でしばしば使用されるコンビ技の一つ。

パートナーが水面蹴りで相手の足を払い、慧音がSTOの要領でもう片方の足を払いつつ、

相手の首を固定した状態で自分の体ごと後頭部からマットに叩き付ける技。

殆どの場合[もこけーね](#)として放つ技だが、GM軍入り後、[天子](#)とのコンビで使用した事も。

オリジナルはOH砲こと小川直也&[橋本真也](#)。

その他の使用技

ハーフネルソンスープレックス スクラップバスター([妹紅](#)のヴォルケイノ・瞬と同型のため、ファンからは「ヴォルケーね・瞬」とも呼ばれる)

寺子屋生徒(スクールボーイ) 閃スープレックスなど

白沢モードの慧音は野生の本能と冷静さを兼ね備えたトータルファイター。

(余談だが、公式絵は妹紅より小さいのは内緒である)

戦績

[部分編集]

+ 全戦績 -ネタバレを含むので注意-

タイトル歴

LTW王座

第二代王者タッグ ([藤原妹紅](#))、防衛1回

第四代王者タッグ ([藤原妹紅](#))、防衛2回

受賞歴

2008年度東方プロレス大賞

最優秀タッグ賞([もこけーね](#)([妹紅](#)))

人間関係

▶ [藤原妹紅](#)

([もこけーね](#)。親密な関係である。)

▶ [GM比那名居天子](#)

([GM軍](#)参入時にボディガード契約。現在は敵対。)

▶ [輝夜・てゐ](#)

([GM軍](#)の仲間なのだが、[衣玖](#)へのいびりには内心よろしく思っていない様子。現在は天子と同じく敵対関係に。)

▶ [風見幽香](#)

(根が先生ゆえに、いじめっこは指導!...なのだが普通に体罰通り越してます)

▶ [八意永琳](#)

(離反後の対[GM軍](#)戦にまさかの帯同。教師仲間とのことだが・・・?)

入場曲

ブレインエイジア

評

[部分編集]

信念の人,信念のレスリング 旗揚げ～第26回大会

旗揚げ当初からの契約選手で、同時に紅魔館の旗揚げ戦全勝宣言に待ったをかけたレスラー。

(それが[美鈴五番勝負](#)に繋がるのだが、それは別のストーリー)

純粋なエンタテインメントレスリングをクリーンにこなす選手として

パートナーの[妹紅](#)と共に息のあった戦いを繰り広げており東プロの良識ファイターとされていた。

またファイトマネーを寺子屋での教育振興とスポーツ交流のためにあてがうなど優れた人物としての評価も高かった。

しかし徐々に東プロの戦場が目まぐるしくなってくると角の措置が緩くなっていたのかゴング後にも相手への攻撃を仕掛けるようになる。

当人は『ついカッとなってやった』という今まででは考えられなかった様な発言をし始める。

タイトル争いへはタッグ[もこけーね](#)として参戦。

初代[LTW](#)選手権、因縁ある[蓬莱てるよ](#)タッグとの試合では輝夜の難題に振り回される妹紅を庇い、

10分以上1人で戦い続けるタフネスをアピールしたものの初戦敗退を喫する。

しかしその後マリアリ、スイマリを立て続けに打ち倒しLTW挑戦権を奪取すると、

奇しくも混乱不和を起こしていた初代[LTW](#)王者[レミリア・フラン](#)組([紅魔館](#))を破り

二代目[LTW](#)王者に戴冠する。その後[ゆかゆゆ](#)タッグから金星を挙げ1度の防衛を果たすが陥落。

しかし東プロでも限られた『タッグパートナーを絶対に代えないタッグ』として相互の信頼が厚い。

シングルでのタイトル争いも参加経験はあるが、体格では勝るもののパワーで負ける結果となってしまう

(その相手が『破壊王者』[フラン](#)では無理からぬところだったが)以降シングル戦線からは離脱。

それでも、メインイベントには絡まずともコンスタントに力を発揮するレスラーとして評価されていた。

+ 固い信念と忠誠心が反逆心を生む 第27回大会～第32回大会

+ 悪の軍団と指導者の狭間で 第33回大会～第38回大会

+ 歴史を創る程度の能力 第39回大会～

+ はたらくはくたくせんせい

+ その後のせんせい